

2023.09.16 糖尿病・肥満・生活習慣病セミナー1

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

誕生日に合併症チェックしよう！

栄養学をもっと勉強しないといけないと思いました。

小麦粉、果糖、加工品を控えなければいけない理由がやっとはっきりと分かりました。

食べ物の選択は大事である

食の安全性

誕生日月を機に、必要な検査をすること

糖尿病患者さんをまず肯定して接することの重要性。

食品添加物の怖さ

ハーゲンダッツ。

小麦 麺類 果物を食べないほうがいい 添加物の影響が大きいこと

糖尿病の合併症を予防するための薬の選択について SGLT2i の有効性

小麦、果糖、だめ。

食事と leaky gut syndrome の関連について勉強したことを、今後の臨床の中で活かしたいと思った。

狩山先生の講演内容

2023.09.17 (午前) 糖尿病・肥満・生活習慣病セミナー2

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

糖尿病治療の Fantastic Four メトホルミン SGLT2i GLP1 持効型インスリン で成り立っているように思う。

薬の使い方を工夫していきたい。HbA1C の値に上限を作らないと言われた点。

認知症の高齢者 高血糖でもよい。

大変面白かったです。

片岡先生の個々の患者さんへの対応（距離感）あらためて本来の医師の姿というべき、感動しました。

三澤先生の講義で患者さんのお話を聞く時に、「公平な意識であること、自身が受容体になったように、患者さんの考えを受けとめる状態になること」を教えてください、大変勉強になりました。片岡先生の講義で「外来に入ってこられた時に集中して、患者さんのお話を全力で聞きます、うけとめます、というメッセージを表情、声、態度で表現すること」「大人の発達障害」「私はこう思いますIメッセージ」を教えてください深謝申し上げます。

両先生の患者さんをポジティブにしていく診療姿勢。投薬と検査結果だけでは見えてこない臨床経過の基盤に患者さんの生活背景があること。

患者さんに対しての言葉がけ、ついいてしまいがちになる言葉など、信頼関係を築く上で大変勉強になりました。

インシュリン分泌能の評価の必要性和、インシュリン抵抗性出現への注意。GLP-1RA の治療適応例がみえてきました。

三澤先生の糖尿病の薬物療法の実際について講義が印象的でした。

2023.09.17 (午後) 糖尿病・肥満・生活習慣病セミナー3

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

脂質異常症のリスクスコアが久山町スコアに変わったことです。

ガイドラインの裏側。OARS。

肥満の治療で対象者に対する声かけ、質問や対応方法など、とても勉強になりました。

パンと麺とジュースはよくないことがわかりました。

Ask 肥満の話をしていいかどうかを尋ねる。

TGが高くてもあまり治療介入しなくてもいい ガイドラインを目の前に患者さんにどう適応するかが大きな問題であることを改めて認識した ADHD ロコモ フレイルなど医療化の裏に製薬会社などの思惑が絡んでいる可能性がある

正解を求めるのではなく、問題を把握、共有。肥満症や2型糖尿病は、高血圧症などと比べるとより生活や行動の改善のウェイトが高い。私共開業医にとってもより大きなやりがいのある、またとても難しい課題と思います。

肥満患者さんへの対応